

**学校経営推進費 事業計画書**

1. 事業計画の概要

実施課程名	だいせん聴覚高等支援
取り組む課題	B グローバル人材の育成
評価指標	外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上 ～「ASL(アメリカ手話) 検定」
計画名	聴覚障がい生徒のグローバル人材育成推進計画

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>情報保障を充実させ基礎学力の定着・発展と国語力(特に書いて表現する力)の伸長を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営推進費によるタブレット型PCと電子黒板の導入により双方向性の授業を実施するとともに多様なコンテンツを活用して個別指導の充実を図り、大学進学を範囲を広げていく。27年度までに希望する大学への進学率を85%にし新たに国公立大学合格者を出す。</li> <li>・各種試験等における受験者の学力結果を10%以上あげ、全生徒の資格取得を図る</li> <li>・国際交流を推進するとともに海外への大学進学を図る。平成26年度ICT機器を活用して海外との学校交流を図るとともに海外の大学進学に向けたカリキュラムを検討する。平成27年度カリキュラムに基づく指導の検証と大学状況確認。平成28年度大学への挑戦を試みる。</li> </ul>		
事業目標	<p>国際社会で活躍できる聴覚障がい者の人材を育成するために、日本の高校で3校だけの聴覚支援学校だからこそできる英語教育カリキュラムを構築する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①海外の聴覚支援高等学校との交流、短期留学の実施</li> <li>②アメリカ手話講座の開講と検定受験者・合格者の輩出</li> <li>③英検を活用した英語教育の充実</li> </ol>		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	通信機器、回線整備、教材、講師報償費、調査・下見のための旅費	
	取組内容	前年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実用英語技能検定(生徒数88名、受験者23名、合格者 10名) (内訳 受験者2級1名、準2級1名、3級9名、4級9名、5級3名 合格者準2級1名、3級3名、4級4名、5級2名)</li> <li>②大阪府国際化戦略アクションプログラム グローバル体験プログラム参加(普通科)</li> <li>③iPad及び電子黒板を活用した授業の開始</li> </ol>
		初年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実用英語技能検定助成金制度の導入・推進、TOEFLの推進</li> <li>②ASL(アメリカ手話)講座開始</li> <li>③国際交流姉妹校(マレーシア、オーストラリア、アメリカなど)の策定</li> <li>④部活動(学習部)等で姉妹校との通信機器を活用した交流の実施</li> <li>⑤普通科における国際コース設置に向けた指導内容当の検討・策定</li> <li>⑥短期留学の計画・下見</li> </ol>
		2年目	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実用英語技能検定助成金制度による英検の推進、TOEFLの推進</li> <li>②ASL(アメリカ手話)講座の継続開講とASL検定受験者の輩出</li> <li>③姉妹校との通信機器を活用した定期的、継続的交流と、文化祭等における成果の発表</li> <li>④普通科国際コースの実施</li> <li>⑤短期留学実施</li> <li>⑥海外の聴覚障がい関係大学(ギャローデット大学等)への進学の調査、推進計画策定</li> </ol>
		3年目	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実用英語技能検定助成金制度による英検の推進、TOEFLの推進</li> <li>②ASL(アメリカ手話)講座の継続開講とASL検定合格者の輩出</li> <li>③姉妹校との通信機器を活用した定期的、継続的交流と広報メディア等における成果の発表</li> <li>④短期留学実施を含む普通科国際コースの充実</li> <li>⑤海外の聴覚障がい関係大学(ギャローデット大学等)への挑戦を目指したメニューの実施</li> </ol>
	取組みの 主担・実施者	<ol style="list-style-type: none"> <li>①国際交流インフラ作成/英検推進と成果報告【英語科教員】</li> <li>②情報機器等の整備【情報部】</li> <li>③ASL講習会の準備/一般校から本校への生徒の獲得【教育支援部】</li> <li>④部活動を活用した国際交流学習【総務部生徒自治会係】</li> <li>⑤大学進学指導への活用(一般入試、特別推薦入試など)【キャリア教育部】</li> </ol>	
成果の評価 検証方法	初年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実用英語技能検定受験者数割合 前年度比10%アップ、合格者数10%アップ</li> <li>②ASL(アメリカ手話)講習会の実施回数10回以上</li> <li>③国際交流姉妹校の決定1校</li> <li>④姉妹校との交流の実施(年内の開始)</li> <li>⑤普通科国際コースの策定</li> </ol>	
	2年目	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実用英語技能検定受験者数割合 前年度比10%アップ、合格者数10%アップ</li> <li>②ASL(アメリカ手話)講習会の実施回数20回以上、ASL検定挑戦者輩出</li> <li>③国際交流姉妹校への短期留学実施</li> <li>④姉妹校との交流について文化祭での成果発表</li> <li>⑤普通科国際コースの開設</li> </ol>	
	3年目	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実用英語技能検定受験者数割合 前年度比10%アップ、合格者数10%アップ</li> <li>②ASL(アメリカ手話)講習会の実施回数20回以上、ASL検定合格者輩出</li> <li>③国際交流姉妹校への短期留学実施</li> <li>④本推進計画の成果・意義・展望に関する報告書の作成</li> <li>⑤普通科(国際コースを含む)在籍生徒数の増加</li> </ol>	

他事業での支援内容	<p>時期：平成25年度          名称：全ての教室でICT ～聴覚障がい生徒の情報保障の拡充による進路指導の充実と学力の向上～          金額：500万円</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------